

平成 21 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベルーナ
 代表者名 代表取締役社長 安野 清
 (コード番号 9997 東証第1部)
 問合せ先 管 理 本 部 長 須藤 滋
 (TEL. 048-771-7753)

(訂正・数値データ修正あり)「平成 21 年 3 月期 決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 8 日に発表いたしました「平成 21 年 3 月期 決算短信」の記載内容の一部に訂正すべき事項がございましたのでお知らせいたします。なお、訂正はキャッシュ・フロー計算書に記載されている箇所であり、損益の訂正はありません。

記

[訂正箇所]

訂正箇所には下線を付しております。

・1ページ

1. 21 年 3 月期の連結業績(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(3)連結キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21 年 3 月期	<u>17,905</u>	<u>△3,865</u>	△13,684	17,086
20 年 3 月期	<u>△12,519</u>	<u>△8,243</u>	11,926	17,222

<訂正後>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21 年 3 月期	<u>17,893</u>	<u>△3,854</u>	△13,684	17,086
20 年 3 月期	<u>△11,119</u>	<u>△9,642</u>	11,926	17,222

・4ページ

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

② 当該事業年度のキャッシュ・フロー概況

< 訂正前 >

(単位: 百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△12,519</u>	<u>17,905</u>	<u>30,424</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△8,243</u>	<u>△3,865</u>	<u>4,377</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,926	△13,684	△25,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△421	△549	△128
現金及び現金同等物の増減額	△9,256	△194	9,061
現金及び現金同等物の期首残高	26,385	17,222	△9,163
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	93	58	△34
現金及び現金同等物の期末残高	17,222	17,086	△136

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比 136 百万円減の 17,086 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により取得した資金は 17,905 百万円 ですが、これは、営業貸付金が減少した事が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により使用した資金 3,865 百万円 は、無形固定資産の取得などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は 13,684 百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金が減少した事によるものです。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期
自己資本比率(%)	50.4	48.0	43.3	39.9	40.2
時価ベースの自己資本比率(%)	89.2	113.2	57.2	26.6	9.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	<u>38.3</u>

<訂正後>

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△11,119</u>	<u>17,893</u>	<u>29,013</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△9,642</u>	<u>△3,854</u>	<u>5,788</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,926	△13,684	△25,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△421	△549	△128
現金及び現金同等物の増減額	△9,256	△194	9,061
現金及び現金同等物の期首残高	26,385	17,222	△9,163
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	93	58	△34
現金及び現金同等物の期末残高	17,222	17,086	△136

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比 136 百万円減の 17,086 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により取得した資金は 17,893 百万円 ですが、これは、営業貸付金が減少した事が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により使用した資金 3,854 百万円 は、無形固定資産の取得などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は 13,684 百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金が減少した事によるものです。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期
自己資本比率(%)	50.4	48.0	43.3	39.9	40.2
時価ベースの自己資本比率(%)	89.2	113.2	57.2	26.6	9.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	<u>38.2</u>

4. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,077	△7,281
減価償却費	1,105	1,585
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6	△18
減損損失	—	2,111
のれん償却額	—	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,102	2,051
商品改修引当金増減額(△は減少)	295	293
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△260
退職給付引当金の増減額(△は減少)	46	62
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	8
ポイント引当金の増減額(△は減少)	171	91
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	574	568
受取利息及び受取配当金	△391	△308
支払利息	399	437
デリバティブ解約損益(△は益)	—	1,052
デリバティブ評価損益(△は益)	2,091	△415
有価証券売却損益(△は益)	454	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△127	2,094
投資有価証券評価損益(△は益)	935	—
有形固定資産除却損	3	—
為替差損益(△は益)	—	3,183
売上債権の増減額(△は増加)	1,125	2,302
営業貸付金の増減額(△は増加)	△10,055	11,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,912	△352
販売用不動産の増減額(△は増加)	—	3,569
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,003	358
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,480	△731
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,476	△2,382
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△93	217
その他	706	520
小計	△6,461	20,301
利息及び配当金の受取額	390	345
利息の支払額	△408	△467
法人税等の支払額	△6,039	△2,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,519	17,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△513	△1,411
定期預金の払戻による収入	806	323
有価証券の取得による支出	△4,036	△1,078
有価証券の売却による収入	4,237	299
有形固定資産の取得による支出	△6,403	△700
有形固定資産の売却による収入	5	812
無形固定資産の取得による支出	△834	△2,303
無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△2,948	△345
投資有価証券の売却による収入	3,322	3,764
貸付けによる支出	△3,513	△50
貸付金の回収による収入	2,750	54
差入保証金の差入による支出	—	△2,454
差入保証金の回収による収入	—	275
その他の投資による支出	△1,430	△1,058
その他の投資の回収による収入	315	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,243	△3,865

<訂正後>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,077	△7,281
減価償却費	1,105	<u>1,590</u>
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6	△18
減損損失	—	2,111
のれん償却額	—	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,102	2,051
商品改修引当金増減額(△は減少)	295	293
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	<u>△258</u>
退職給付引当金の増減額(△は減少)	46	62
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	8
ポイント引当金の増減額(△は減少)	171	91
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	574	568
受取利息及び受取配当金	△391	△308
支払利息	399	437
デリバティブ解約損益(△は益)	—	1,052
デリバティブ評価損益(△は益)	2,091	△415
有価証券売却損益(△は益)	454	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△127	<u>324</u>
投資有価証券評価損益(△は益)	935	<u>1,770</u>
有形固定資産除却損	3	<u>27</u>
為替差損益(△は益)	—	<u>3,212</u>
売上債権の増減額(△は増加)	1,125	2,302
営業貸付金の増減額(△は増加)	△10,055	11,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,912	△352
販売用不動産の増減額(△は増加)	—	3,569
その他の流動資産の増減額(△は増加)	<u>△603</u>	<u>444</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,480	△731
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,476	<u>△2,544</u>
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△93	217
その他	706	<u>480</u>
小計	<u>△5,062</u>	<u>20,244</u>
利息及び配当金の受取額	390	300
利息の支払額	△408	△467
法人税等の還付額	—	<u>670</u>
法人税等の支払額	△6,039	<u>△2,853</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△11,119</u>	<u>17,893</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△513	△1,411
定期預金の払戻による収入	806	323
有価証券の取得による支出	△4,036	△1,078
有価証券の売却による収入	4,237	299
有形固定資産の取得による支出	△6,403	<u>△845</u>
有形固定資産の売却による収入	5	<u>810</u>
無形固定資産の取得による支出	△834	<u>△1,960</u>
無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△2,948	△345
投資有価証券の売却による収入	<u>1,923</u>	3,764
子会社株式の取得による支出	—	<u>△895</u>
貸付けによる支出	△3,513	<u>△125</u>
貸付金の回収による収入	2,750	<u>129</u>
差入保証金の差入による支出	—	<u>△2,653</u>
差入保証金の回収による収入	—	288
その他の支出	△1,430	<u>△163</u>
その他の収入	315	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△9,642</u>	<u>△3,854</u>

以上

平成21年3月期 決算短信

平成21年6月17日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベルーナ
コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
定時株主総会開催予定日 平成21年6月26日
有価証券報告書提出予定日 平成21年6月29日

(氏名) 安野 清
(氏名) 須藤 滋
TEL 048-771-7753
配当支払開始予定日 平成21年6月29日

(百万円未満切捨て)

1. 21年3月期の連結業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期	109,912	△12.2	1,221	△88.0	△2,239	—	△8,763	—
20年3月期	125,173	△3.6	10,208	△15.8	7,151	△43.3	3,435	△51.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
21年3月期	△173.72	—	△14.9	△1.5	1.1
20年3月期	66.14	61.78	5.3	4.6	8.2

(参考) 持分法投資損益 21年3月期 一百万円 20年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期	133,868	53,808	40.2	1,073.46
20年3月期	160,707	64,327	39.9	1,254.05

(参考) 自己資本 21年3月期 53,808百万円 20年3月期 64,116百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期	17,893	△3,854	△13,684	17,086
20年3月期	△11,119	△9,642	11,926	17,222

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00	771	22.7	1.2
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00	751	—	1.3
22年3月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00		37.8	

3. 22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	47,000	△14.0	1,400	△47.2	1,380	△38.3	810	82.6	16.06
通期	103,500	△5.8	5,300	333.8	5,200	—	2,000	—	39.65

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期 56,592,274株 20年3月期 56,592,274株
② 期末自己株式数 21年3月期 6,465,974株 20年3月期 5,464,873株

(参考)個別業績の概要

1. 21年3月期の個別業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期	86,106	△12.4	1,447	△63.8	1,420	△12.0	△6,217	—
20年3月期	98,315	△7.4	3,997	△31.1	1,614	△74.6	155	△95.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期	△123.26	—
20年3月期	2.99	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期	96,940	45,156	46.6	900.85
20年3月期	100,108	52,236	52.2	1,021.70

(参考) 自己資本 21年3月期 45,156百万円 20年3月期 52,236百万円

2. 22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	37,920	△8.5	80	△69.6	180	△85.6	105	—	2.08
通期	81,200	△5.7	1,690	16.7	1,890	33.1	780	—	15.48

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想に関する事項については、3ページ「定性的情報・財務諸表等 1. 経営成績(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。